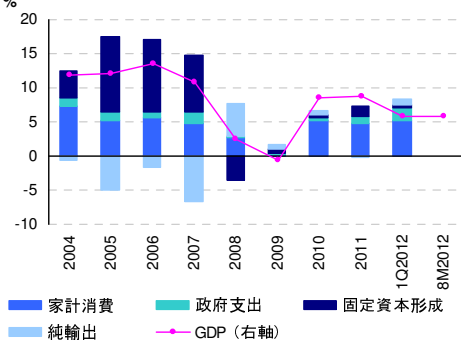


# Central Asia Monthly

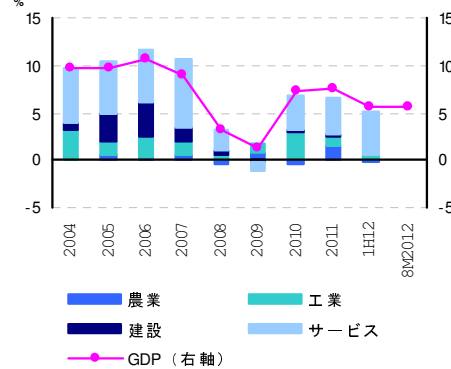
マクロ経済、金融市場、銀行セクターの現状

## カザフスタン マクロ経済

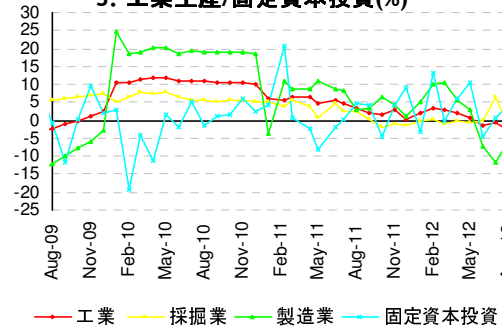
### 1. GDP 成長率と需要項目別寄与度 (%)



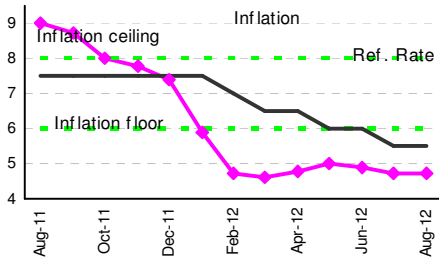
### 2. GDP成長率産業別寄与度(%)



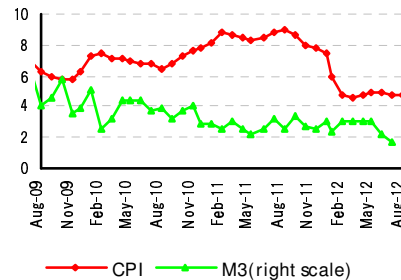
### 3. 工業生産/固定資本投資(%)



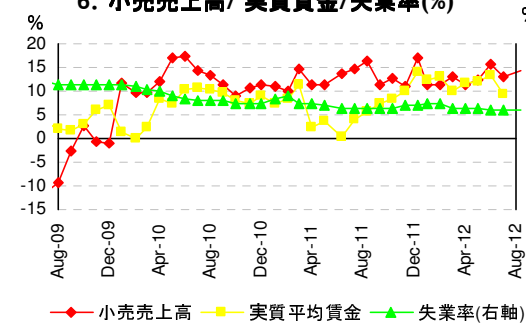
### 4. 消費者物価指数とリファイナンスレート (%)



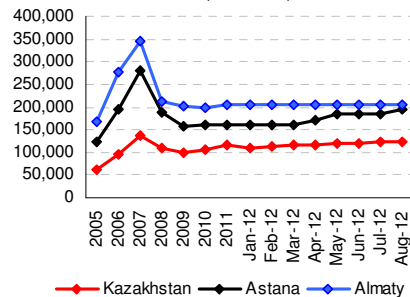
### 5. 消費者物価指数とマネーサプライ推移(%)



### 6. 小売売上高/ 実質賃金/失業率(%)



### 7. 中古住宅価格 (KZT/m<sup>2</sup>)



**備考:**

- (1). 2012年第1四半期GDP+5.6%。GDPへの寄与度は、家計消費+5.2%。政府支出は+1.9%。固定資本形成は+0.5%。純輸出は+0.8%。
- (2). 2012年上期GDP成長率5.6%。産業別成長率は、サービス+8.9%、農業▲6.3%、工業 +1.7%、建設+0.5%。GDP構成比は、サービス51.6%(前年同比+3.2%)、工業33.3%(同▲2.9%)、建設5.5%(同+0.4%)、農業2.4%(同+0.3%)で、GDP貢献度は、サービス+4.6%、工業+0.6%。統計局によると、1-8月GDP成長率は+5.6%。
- (3). 工業生産は8月対前年同月比▲3.7%(1-8月+0.7%)、採掘業▲5.1%(同+0%)、製造業▲3.6%(同+1.4%)、公共サービス+5%(同+5.4%)、固定資本投資は、8月対前年同月比+5.4%(1-8月+3.1%)。
- (4-5). 消費者物価は8月対前月比+0.3% (前年同月比+4.7%)。マルチェンコカザフ中央銀行総裁は、リファイナンスレートは年末まで5.5%のレベルで継続見込みとコメント。マネーサプライは、7月対前月比+1.7%(対前年同月比+8.6%)の708億米ドル。
- (6). 小売売上高は、8月対前年同月比+14.2%(1-8月+12.8%)。失業率は先月と変わらず5.2%となった。実質平均賃金は、7月対前年同月比+9.5%(名目+14.7%)。
- (7). 中古住宅価格は、8月対前月比+1.2% (対前年末比+7.7%)、カザフ全体で123.4千テンゲ/m<sup>2</sup>となった。アスタナは+6.4% (対前年末比+9.4%)、195.3千テンゲ/m<sup>2</sup>となり、アルマティは前月と変わらず204.2千テンゲ/m<sup>2</sup> (対前年末比+2%)。

(出所): カザフスタン統計庁、カザフスタン中央銀行、Moody's, S&P, Fitch

## Upcoming

10月2-3日

アスタナにて第7回  
KazEnergyフォーラム開催

10月4-5日

アルマティにて  
KIOGEオイル・ガス  
フォーラム開催

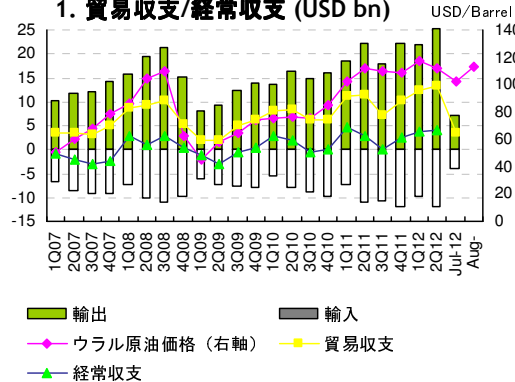


# Central Asia Monthly

マクロ経済、金融市場、銀行セクターの現状

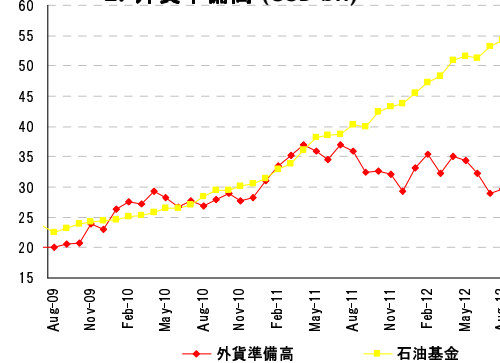
## カザフスタン 対外部門

### 1. 貿易収支/経常収支 (USD bn)

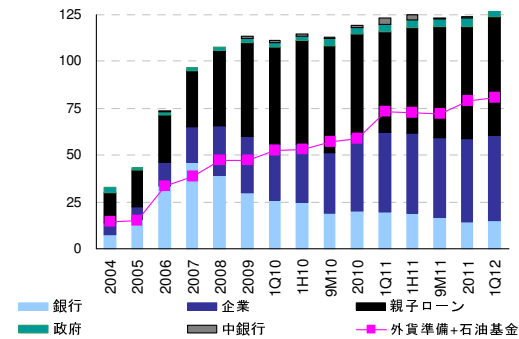


(出所): カザフスタン統計庁、カザフスタン中央銀行、カザフスタン証券取引所

### 2. 外貨準備高 (USD bn)

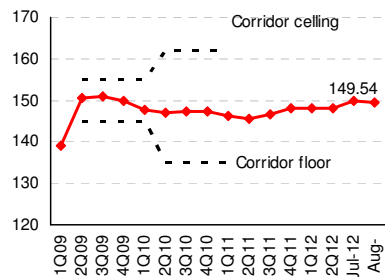


### 3. 対外債務残高 (USD bn)

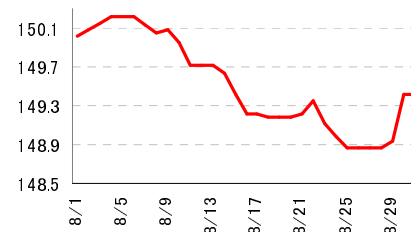


## カザフスタン 金融市場

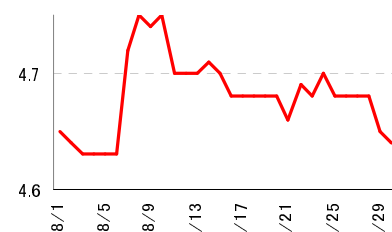
### 4. 為替レート (KZT/USD)



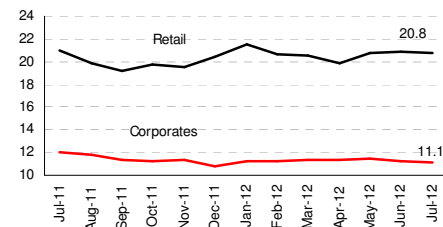
### 5. 8月の為替レート (KZT/USD)



### 6. 8月の為替レート (KZT/RUB)



### 7. テンゲ平均貸出金利動向(%)



### 備

- 2012年7月貿易黒字は、対前年同期比+36.6%の34億米ドル(輸出は同+36.9%の73億ドル、輸入は同36.2%の39億ドル)。カザフ中央銀行発表による上期貿易黒字は、+5.3%の253億米ドル(輸出+11.1%471億米ドル、輸入+18.1%218億米ドル)。経常収支は、2012年第2四半期▲24.4%の41億米ドル、上期は▲1%の76億米ドル。
- 石油基金を含む外貨準備高は8月末時点で838億米ドル。中央銀行の総外貨準備高は、8月対前月比2.07%増加し296億米ドルとなった。石油基金は8月対前月比1.85%増加し543億米ドルとなった。
- 2012年第1四半期対外債務高は対前年同期比4.9%増加し、1,293億米ドルとなった。うち、銀行部門は(▲25.3%)148億米ドル、政府債権は(+19.9%)46億米ドル、中銀は(▲81.2%)7億米ドル、親子ローンは(+18.3%)634億米ドル、企業ローンは(+7.7%)458億米ドル。
- 5) テンゲ対米ドルの為替レート8月平均1米ドル149.54テンゲとなり、前月比0.1%のテンゲ高。
- 6) 対ルーブルは8月平均1ルーブル4.68テンゲとなり、前月比1.7%のテンゲ安。
- 7) テンゲ貸出金利は、7月個人向けは対前月比0.1%下がり、20.8%となり、法人向けも同様に0.1%下がり、11.1%となった。

## Upcoming

### Long-Term Foreign Currency Sovereign Rating

Agency	Rating
Moody's (Jan-11)	Baa2 Stable
S&P (Nov-11)	BBB+ Stable
Fitch (Nov-11)	BBB Positive



## カザフスタン 政府経済見通し (2012年8月28日の修正以降)

### 1. 2012-2017年マクロ経済見通し

指標	2011年実績	2012年以前の 見通し	2012年修正後の 見通し	2013年以前の 見通し	2013年修正後の 見通し	2014年以前の 見通し	2014年修正後の 見通し	2015年の見通し (修正無し)	2016年の見通し (修正無し)	2017年の見通し (修正無し)
実質 GDP (%)	7.5	6	5.8	6.5	6.0	7.1	6.1	7.6	6.6	6.9
工業生産 (%)	3.5	3.6	4.0	6.5	3.8	8.4	4.3	6.9	5.8	6.5
石油生産 (トン)	80	81	81.0	83.0	82.0	85.0	83.0	90.0	95.0	102.0
石油価格 (USD/bbl)	110.9	90	100.0	70.0	90.0	70.0	89.0	88.0	86.0	85.0
建設業 (%)	2.7	2.9	2.9	1.8	3.5	1.0	3.3	3.6	3.3	3.0
消費者物価指数 (%)	7.4	6%-8%	6%-8%	6%-8%	6%-8%	6%-8%	6%-8%	6%-8%	6%-8%	6%-8%
貿易売上高 (%)	12	12.7	14.3	9	13	8.6	12.2	12.5	10.4	9.7
実質平均賃金 (%)	7.9	8	n/a	8	n/a	10.1	n/a	n/a	n/a	n/a
失業率 (%)	5.4	5.8	5.8	6	5.7	5.9	5.6	5.5	5.4	5.3
為替レート (KZT/USD)	146.62	148.5	148.5	148.5	148.5	148.5	148.5	148.5	148.5	148.5
貿易収支 (USD, bn)	46.8	39.8	49.3	32.7	39.8	33.9	33.7	32.6	28.9	24.4
輸出 (USD, bn)	76.3	87.9	97.7	75.3	96.0	81.6	96.7	104.1	110.1	116.7
輸入 (USD, bn)	42.1	48.1	48.4	42.6	56.3	47.7	63.0	71.6	81.1	92.3
経常収支 (USD, bn (% GDP比))	6.1 (3.4)	2.7 (1.4)	2.7 (2.8)	0.8 (0.4)	3.0 (1.3)	0.9 (0.4)	1.0 (0.4)	3.0 (0.9)	4.6 (1.3)	6.1 (1.5)

#### 備考:

- 政府は、世界経済見通し、カザフの産業プロジェクトや経済発展状況分析により、2012年マクロ経済見通しを修正した。産業プロジェクトは2013-2020年に実施予定。
- 実質GDP成長率は従来の6.0%から5.8%へ下方修正。主として世界経済成長が下方修正されたことによる。原油価格を、2012年は従来予測の1バレル90米ドルから100米ドルに引き上げた。
- 2011-2012年産業生産は伸びず、石油生産予測は2012年83百万トンから81百万トンに、2013年も83百万トンから82百万トンに、2014年も85百万トンから83百万トンに下方修正した。しかしながら、2015年以降90百万トンから2017年102百万トンまで伸びる見通し。
- 政府は若い家庭や一般向けの不動産プロジェクトを実施しているため、建設セクターは成長する見通し。2013年の予測は1.8% から3.5%に、2014年も1% から3.3%に上方修正し、それ以降は3%の見通し。
- 貿易収支は2013-2014年増大の見込みだが、2015-2017年は減少予測。輸出入は増大の見込み。



# Central Asia Monthly

マクロ経済、金融市場、銀行セクターの現状

## カザフスタン

銀行セクター (2012年8月1日)

銀行名	単位 (USDm) <sup>1</sup>				(先月比)			
	総資産	貸出	引当金 <sup>2</sup>	預金 <sup>3</sup>	総資産	貸出	引当金 <sup>2</sup>	預金
1 KKB	16,532	15,696	37.60%	9,546	0.7%	(0.8%)	2.0%	4.7%
2 Halyk	14,822	8,812	25.01%	10,306	(11.7%)	(5.2%)	5.9%	(14.6%)
3 BTA	9,680	13,845	85.93%	4,503	0.4%	0.2%	0.2%	0.5%
4 BCC	6,864	5,535	16.34%	4,774	(2.8%)	(0.4%)	1.1%	2.7%
5 ATF	6,630	5,423	21.44%	3,873	6.8%	(0.4%)	(0.5%)	8.2%
6 Sberbank	4,657	3,064	5.71%	3,443	12.6%	2.5%	3.6%	15.2%
7 Alliance	3,636	3,741	44.56%	2,189	(0.4%)	1.0%	(0.5%)	2.6%
8 Tsesnabank	3,480	2,634	3.62%	2,851	2.5%	2.8%	(2.3%)	4.0%
9 Kaspibank	3,112	2,770	18.03%	2,344	1.3%	3.8%	0.1%	2.4%
10 Eurasian	2,891	2,230	8.75%	1,803	(1.0%)	4.0%	(2.7%)	2.2%
<b>合計 (全38行)</b>	<b>89,060</b>	<b>72,962</b>	<b>36.37%</b>	<b>56,186</b>	<b>(1.0%)</b>	<b>-0.3%</b>	<b>1.0%</b>	<b>(0.6%)</b>

(出所): 金融庁; 中央銀行 (NBK)

注: (1). 米ドル対KZT換算レートは149.54; (2). ローンポートフォリオに占める%; 先月に比べ引当金の推移; (3). 個人預金と法人預金の総額 (SPV預金除く)

### 備考:

(1) 8月1日現在、総資産は前月比1%減少し、891億米ドルとなった。

(2) 貸出総額は729億米ドル、前月比▲0.3%。構成は正常債権26.7% (対前月比▲1%)、懸念債権43.7% (対前月比+0.7%)、不良債権29.7% (対前月比+0.4%)。90日以上の延滞債権31.5% (対前月比+0.6%)。NPL (不良債権+懸念債権カテゴリー5) 37.65% (対前月比+0.52%)。引当金は貸出のうち36.4%の266億米ドル (対前月比+0.4%)。総債務は対前月比▲1.7%の863億米ドル。個人と法人 (銀行と特別目的会社除く) による総預金は対前月比▲0.6%の562億米ドル。

### Topics:

**KKB:** 2012年上期の純利益は87百万米ドル、前年同期比+9.1%。総資産は1.05%増加し、169億米ドル、総債務も+1.8%、140億米ドル。株式資本は2.9%増加し、29億米ドル。資本金は60百万米ドル。税引前収入は若干減少し、99.3百万米ドルとなった。純利息収入は150%アップし、1.56億米ドルとなった。

**Halyk Bank:** 銀行手数料増加と減損費用減少のため、2012年上期の純利益は前年同期比50%増加し、1.4億米ドルから2.1億米ドルとなった。

**BTA:** 米国破産裁判所にて債務再編への承認取得。再編完了日は延長。

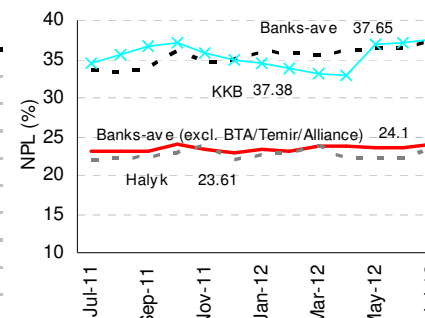
**ATF Bank:** 発行された追加株を株主であるUniCredit Groupが買取、これにより1億米ドル株式資本増加。

**Alliance Bank:** 債務を買戻し、貸出も増大したため、2012年上期の純利益は良好となり、35百万米ドルとなった (前年同期は29百万米ドルの赤字)。1.3億米ドルとする債券を1.1億米ドルで買取、これにより、20百万米ドル利益取得。

**EDB:** ユーロ債5億米ドル、期間10年、金利4.767% (スワップ+295 b.p) で発行。主なオーガナイザーはBNP Paribas, Citi, HSBC, と VTB Capital。

**DBK:** コスタナイ市にてEvraz Caspian Steel LLPは圧延鋼材生産工場の建設プロジェクトの70%、1.3億米ドルをファイナンス。

## Upcoming



# Central Asia Monthly

マクロ経済、金融市場、銀行セクターの現状

2012年9月 | 5

## 中央アジア

### 主な経済指標

国名	人口 (M)	名目GDP(2011年) (Bn USD)	一人当たりGDP (USD)	貿易量(2011年) (Bn USD)	為替レート (2012年8月平均)	2012年度GDP成長予測			
						IMF	EBRD	ADB	世界銀行
カザフスタン	16.7	186.2	11,149.7	126.2	147.89 Kaz. Tenge/USD	5.9%	5.0%	6.0%	6.0%
ウズベキスタン	29.6	43.3	1,462.8	25.5	1,921 Uzb. Soum/USD	7.0%	7.0%	8.0%	8.0%
トルクメニスタン*	5.5	25.7	4,658.4	14.7	2.85 New Manat/USD	7.0%	10.0%	10.0%	
キルギス	5.5*	5.9	1,073.0	5.6	46.50 Kyrg. Soum/USD	5.0%	1.0%	5.0%	4.7%
タジキスタン	7.6	6.3	830.5	4.6*	4.76 Taj. Somoni/USD	6.0%	4.0%	5.5%	5.8%
ロシア	143	1852.4	12,954.1	845.2	32.33 Rus. Ruble/USD	4.0%	4.2%		3.8%

(出所): 各国統計局・中央銀行・CIAのHP; IMF, EBRD, ADB, 世界銀行による GDP 予測

注: 貿易額は輸出と輸入の合計

(\*): IMF予測

### 主な社会・経済指標 (2012年1月-7月)

国名	GDP %	工業生産 %	固定資本投資 %	運輸 (パイプ除き) %	小売売上高 %	生産者物価指数 (YTD) %	消費者物価指数 (YTD) %
カザフスタン	5.6**	1.3	2.7	19.3	12.6	(4.7)	3.0
キルギス	(5.0)	(30.2)	8.6	5.6	11.0	(0.5)	1.1
トルクメニスタン*	11.1		38.1	8.3	14.9		
ウズベキスタン	8.1	7.0	7.6	4.8	12.5	5.3*	-
タジキスタン	7.4**	12.0	(26.4)	0.0	18.5	6.7	2.9
ロシア	4.4**	3.2	10.2	4.1	6.8	(0.9)	4.5

注:

\*) 2012年第1四半期対前年同期比

\*\* ) 2012年上期対前年同期比

(出所): 各国統計局

## Upcoming

### お問い合わせ

加藤 和典  
所長  
kazunori.kato@kz.mufg.jp

Zhaniya Kuandykova  
シニア アナリスト  
zhaniya.kuandykova@kz.mufg.jp

Roza Kalibekova  
所長アシスタント  
roza.kalibekova@kz.mufg.jp



# Central Asia Monthly

マクロ経済、金融市場、銀行セクターの現状

---

- 本資料は信頼できると思われる各種データに基づき作成しておりますが、当行はその正確性、安全性を保証するものではありません。また本資料は、お客さまへの情報提供のみを目的としたもので、当行の商品・サービスの勧誘やアドバイザーフィーの受入れ等を目的としたものではありません。
- 本資料、プレゼンテーションにより、貴社と株式会社三菱東京UFJ銀行の間には、委任その他の契約関係が何ら発生するものではなく、当行は一切の法的な義務・責任を負いません。本資料、プレゼンテーションに関連して生じた一切の損害については、当行は責任を負いません。その他専門的知識に係る問題については、必ず貴社の公認会計士、税理士、弁護士等の専門家にご相談の上ご確認下さい。
- 本資料は当行の著作物であり、著作権により保護されております。当行の事前の承諾なく、本資料の全部または一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

Copyright 2011 The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd. All rights reserved.

〒100-8114 東京都千代田区丸の内2-7-1

株式会社三菱東京UFJ銀行

当行が契約している指定紛争解決機関／全国銀行協会  
連絡先／全国銀行協会相談室0570-017109、03-5252-3772  
受付時間／月～金曜日9:00～17:00(祝日・12/31～1/3等を除く)

